

大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査結果について（令和元年度）

1. 調査の目的

本調査は、「学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準（平成19年文部科学省告示第41号）」（※1参照）及び「大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査実施要領（平成26年12月12日大学設置・学校法人審議会学校法人分科会長決定）」（※2参照）に基づき、大学等設置に係る寄附行為（変更）認可時の附帯事項等が確実に履行されているかを確認し、あわせて学校法人の経営の実態及び施設等の整備の進捗状況を把握し、学校法人の健全な経営の確保に必要な指導、助言を行うため実施している。

2. 調査の内容・方法

調査は、※2の要領に基づき、大学等の設置が認可された学校法人に対して、原則として当該設置する大学等が完成年次に達するまでの間、毎年度、大学設置・学校法人審議会学校法人分科会（別紙1）が実施している。

調査の内容は、①認可以降の意見等の履行状況、②施設・設備の年次計画の実施状況、③経営の実態（役員の就任状況などの管理運営面、資産・収支状況などの財政面）、について行っている。

調査の方法は、全ての調査対象学校法人（158法人）に対して書類調査を実施し、そのうち、大学・短大新設等の場合で設置学部等が完成年次を迎えた学校法人を中心に7法人について実地調査を実施した。いずれの場合も問題点や課題等があった場合は指摘事項として学校法人に通知し、改善を促すものとする。

3. 令和元年度調査結果の概要

今回の調査の結果、一部指摘事項が付されたものがあるが、全体的には設置計画が着実に履行されていた。今回の調査結果として各学校法人に付す指摘事項は別紙2のとおりであり、調査内容ごとの調査結果の概要は以下のとおりである。

① 認可以降に付された意見に対する履行状況

各学校法人においては、認可以降に付された管理運営や財務等に関する意見に対して、その改善に取り組んでいることを確認したが、事案によっては改善状況が十分ではないため、同じ内容について、継続して意見を付す事案が見られた。

② 施設・設備の年次計画の実施状況

概ね計画どおり履行されていたが、一部の学校法人で、施設・設備の整備計画に変更が生じる場合において必要な手続きを行っていない事案が見られた。

③ 経営の実態

管理運営面において、一部の学校法人で登記が遅延して行われている事案や、監事が出席せずに理事会又は評議員会を開催する事案など、是正が必要な事案が見られた。

財務面においては、定員未充足や収支が継続してマイナスであることについて改善が必要な事案が多く見られた。

なお、本調査において付される意見の定義は以下のとおりである。

- (1) 指摘事項（法令違反）：法令に抵触すると認められる事項があり、学校法人に必要な措置をとることを求める事項。
- (2) 指摘事項（是正）：管理運営上著しく不適切と認められる事項があり、学校法人に早急な是正を求める事項。
- (3) 指摘事項（改善）：寄附行為に基づいた運営がなされていない場合や、設置計画に基づいた整備がなされていないと認められる事項があり、学校法人に改善を求める事項。（認可時の附帯事項及び指摘事項について、引き続き改善を求める場合を含む。）

4. 履行状況報告書の情報公開等

大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備計画の履行状況等を記載した報告書（以下、「履行状況報告書」という）を、学校法人として積極的に公開することは大変意義がある。

また、設置認可と認証評価との連続性の確保が重要な課題であることから、各学校法人におかれては、認証評価機関から履行状況報告書の提出を求められた際には積極的に提供いただくことを期待したい。

なお、設置認可と認証評価の有機的な連携が図られるよう、各認証評価機関に対し、本調査の結果を参考資料として送付することとしたい。

5. 令和2年度の実施方針

調査対象については、これまでと同様に、大学等の設置等の認可後、当該学部等が完成年次に達するまでの期間に該当する学校法人を対象とすることとしたい。調査方法等については、大学設置・学校法人審議会学校法人分科会における審議等を踏まえ、更なる内容の充実を図ることとしたい。

※1

○学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準

(平成19年文部科学省告示第41号)(抄)

第6 その他

- 3 文部科学大臣は、第1から第4までの規定に基づく認可に係る計画及び留意事項の履行の状況及び学校法人の経営の実態を確認するため必要があると認めるときは、書類、実地等による調査を実施すること。

※2

○大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備状況調査実施要領
(平成26年12月12日学校法人分科会長決定)(抄)

1 趣旨

この調査は、寄附行為(変更)認可時の附帯事項(平成30年度以前の開設に係る案件については留意事項。以下同じ。)が確実に履行されているかを確認し、あわせて学校法人の経営の実態及び施設等の整備の進捗状況を把握し、学校法人の健全な経営の確保に必要な指導、助言を行うため実施する。

2 調査対象法人及び期間

- (1) 大学等の設置が認可された学校法人に対して、原則として当該設置する学部・学科等が完成年次に達するまでの間に実施する。
ただし、昭和45年度以降に新設された医学部又は歯学部を設置する学校法人に対しては、当分の間新設後10年間実施する。
なお、調査最終年度において、なお指摘事項が付されている場合、又は、学校法人分科会が必要と判断した場合には、引き続き調査を実施することができる。
- (2) その他、特に調査を要すると認められる学校法人に対し、必要が生じた都度実施する。

3 調査方法

調査は、書類調査、実地調査等の方法により、毎年度1回実施する。ただし、特別の必要がある場合は必要に応じてその都度実施する。

4 調査内容

- (1) 附帯事項等の履行状況
(2) 施設・設備の年次計画の実施状況
(3) 役員の就任状況
(4) 事務組織の整備状況
(5) 入学者の状況
(6) 学校法人の資産及び収支の状況(借入金の状況、学生納付金及び寄附金の状況、給与の支給状況等を含む。)
(7) その他(学校法人の管理運営状況等)

大学設置・学校法人審議会（学校法人分科会）委員名簿

任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日

氏名	現職
植木 朝子 うえき ともこ	同志社大学 副学長、文学部教授
大隈 暁子 おおくま あきこ	公認会計士
大野 健二 おおの けんじ	(株) 日立製作所 名誉顧問
大山 秀子 おおやま ひでこ	立教大学 副総長
川並 弘純 かわなみ ひろずみ	(学) 東京聖徳学園 理事長・学園長、聖徳大学短期大学部学長
木宮 健二 きみや けんじ	(学) 常葉大学 理事長
駒村 圭吾 こまむら けいご	(学) 慶應義塾 常任理事
酒井 正三郎 さかい しょうざぶろう	(学) 中央大学理事、総長
島田 陽一 しまだ よういち	早稲田大学法学学術院教授
滝川 嘉彦 たきかわ よしひこ	(学) 滝川学園 理事長・学園長
○ 谷岡 一郎 たにおか いちろう	(学) 谷岡学園 理事長、大阪商業大学長
野田 賢治 の だ けんじ	(学) 浪商学園 理事長
古阪 幸代 ふるさか きちよ	WFM Women's Facility Management 代表
◎ 村田 治 むらた おさむ	関西学院大学長

◎：分科会長 ○：分科会長代理

令和元年度大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備状況調査意見

調査対象 158法人

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
1	愛知淑徳学園	29	学部の学科増設	愛知淑徳大学	健康医療科学部健康栄養学科	特になし。	特になし。	学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。
2	赤門宏志学院	30	短大新設	仙台赤門短期大学	看護学科	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
3	朝日大学	29	学部の学科増設	朝日大学	保健医療学部健康スポーツ科学科	特になし。	特になし。	特になし。
4	跡見学園	27	学部増設	跡見学園女子大学	観光コミュニティ学部	特になし。	特になし。	特になし。
5	幾徳学園	27	学部増設	神奈川工科大学	看護学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
6	稲置学園	28	学部増設	金沢星稜大学	人文学部	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	特になし。
7	医療創生大学	28 29 31	大学の設置者変更 学部増設 学部増設	医療創生大学 医療創生大学 医療創生大学	理工学研究科(M)(D)、人文学研究科(M)(D)、薬学部、教養学部 看護学部 健康医療科学部	特になし。	監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (医療創生大学 健康医療科学部作業療法学科)
8	岩手医科大学	28 29	短大の設置者変更 学部増設	岩手看護短期大学 岩手医科大学	看護学科 看護学部	特になし。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (岩手医科大学 歯学部歯学科)

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
9	大垣総合学園	31	学部増設	岐阜協立大学	看護学部	代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・決算を理事会にて議決し、評議員会において報告すること。 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (大垣女子短期大学 デザイン美術学科)
10	大阪青山学園	27	学部の学科増設	大阪青山大学	健康科学部 看護学科	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
11	大阪経済法律学園	28	学部増設	大阪経済法科大学	国際学部	特になし。	特になし。	特になし。
12	大阪歯科大学	29 30	学部増設 研究科増設	大阪歯科大学 大阪歯科大学大学院	医療保健学部 医療保健学研究科(M)	特になし。	特になし。	事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (大阪歯科大学 医療保健学部口腔工学科)
13	大阪成蹊学園	30	大学院新設	大阪成蹊大学大学院	教育学研究科(M)	特になし。	特になし。	特になし。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
14	大谷学園	31	研究科増設	大阪大谷大学大学院	薬学研究科(D)	代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
15	大手前学園	28 31	学部増設 学部増設	大手前大学 大手前大学	健康栄養学部 国際看護学部	特になし。	特になし。	特になし。
16	大橋学園	29	短大新設	ユマニテク短期大学	幼児保育学科	特になし。	特になし。	理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・理事長は予算の議決において、あらかじめ評議員会の意見を求めること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (ユマニテク短期大学 幼児保育学科)
17	沖縄大学	31	学部増設	沖縄大学	健康栄養学部	特になし。	特になし。	特になし。
18	關智学園	29	学部増設	關智国際大学	教育学部	特になし。	特になし。	特になし。
19	学習院	28	学部増設	学習院大学	国際社会科学部	特になし。	特になし。	特になし。
20	加計学園	28 30 30	学部増設 学部増設 研究科増設	岡山理科大学 岡山理科大学 千葉科学大学大学院	教育学部 獣医学部 看護学研究科(M)	特になし。	特になし。	寄附金について、募集要項等に任意である旨が明記されていないことから、改善すること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (倉敷芸術科学大学 芸術学部デザイン芸術学科、生命科学部 健康科学科、動物生命科学科、危機管理学部危機管理学科、千葉科学大学 危機管理学部危機管理学科、航空技術危機管理学科、動物危機管理学科、岡山理科大学 工学部生命医療工学科、獣医学部獣医保健看護学科) 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。
21	片柳学園	31	研究科増設	東京工科大学大学院	デザイン研究科(M)	特になし。	特になし。	学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
22	金井学園	27	学部増設	福井工業大学	スポーツ健康科学部	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
23	金沢学院大学	28 30 30	学部の学科増設 短大の学科設置 学部の学科増設	金沢学院大学 金沢学院短期大学 金沢学院大学	人間健康学部健康栄養学科 幼児教育学科 文学部教育学科	代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (金沢学院大学 文学部教育学科、金沢学院短期大学 幼児教育学科)
24	河原学園	27	学部増設	人間環境大学	看護学部	特になし。	特になし。	事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。 休校中の岡崎学園中学校については、再開するか否かなどについての検討を行い、適切な措置を講ずること。
25	関西医科大学	30 30	関西医科大学 研究科増設	関西医科大学 関西医科大学大学院	看護学部 看護学研究科(M)(D)	特になし。	監事の出席していない理事会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	特になし。
26	関西金光学園	30	研究科増設	関西福祉大学大学院	教育学研究科(M)	特になし。	特になし。	特になし。
27	関東学院	29	研究科増設	関東学院大学大学院	看護学研究科(M)	特になし。	特になし。	特になし。
28	岐阜済美学院	29	学部増設	中部学院大学	スポーツ健康科学部	特になし。	特になし。	理事の選任方法に誤りがあることから、寄附行為の規定に基づき適切に行うこと。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
29	享栄学園	29	学部増設	鈴鹿大学	子ども教育学部	特になし。	特になし。	<p>理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長は予算の議決において、あらかじめ評議員会の意見を求めること。 <p>近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (鈴鹿大学 子ども教育学部子ども教育学科)</p>
30	共済学院	29	学部の学科増設	日本保健医療大学	保健医療学部理学療法学科	代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	<p>近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。</p> <p>未整備の規程を整備すること。 (特定個人情報等の取扱いに関する規程)</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (日本保健医療大学保健医療学部理学療法学科)</p>

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
31	京都育英館	30 30	大学院新設 大学の設置者変更	京都看護大学大学院 苫小牧駒澤大学	看護学研究科(M) 国際文化学部	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。	監事の出席していない理事会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	流動比率や繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (苫小牧駒澤大学 国際文化学部キャリア創造学科)
32	京都外国語大学	30	学部増設	京都外国語大学	国際貢献学部	特になし。	特になし。	募集停止中の京都外大西高等学校 通信教育課程 普通科については、再開するか否かなどについての検討を行い、適切な措置を講ずること。
33	京都産業大学	29 31	学部増設 研究科増設	京都産業大学 京都産業大学大学院	現代社会学部 京都文化科学研究科(通信教育課程)(M)	特になし。	特になし。	学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。
34	京都橘学園	28	学部の学科増設	京都橘大学	健康科学部救急救命学科	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。	特になし。	理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・理事長は予算の議決において、あらかじめ評議員会の意見を求めること。
35	共立女子学園	29	研究科増設	共立女子大学大学院	看護学研究科(M)	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
36	金城学園	27	学部増設	金城大学	看護学部	特になし。	特になし。	事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。 休園中の金城幼稚園については、再開するか否かなどについての検討を行い、適切な措置を講ずること。
37	久留米大学	29	学部増設	久留米大学	人間健康学部	特になし。	特になし。	負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。
38	薫英学園	28	学部の学科増設	大阪人間科学大学	人間科学部理学療法学科	代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (大阪人間科学大学 人間科学部社会福祉学科、子ども保育学科)
39	群馬育英学園	30	大学新設	育英大学	教育学部	特になし。	特になし。	事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
40	健康科学大学	28	学部増設	健康科学大学	看護学部	特になし。	特になし。	事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (健康科学大学 健康科学部作業療法学科、福祉心理学科)
41	研伸学園	29	大学新設	一宮研伸大学	看護学部	特になし。	特になし。	事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
42	光華女子学園	27	学部増設	京都光華女子大学	こども教育学部	代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。	特になし。	特になし。
43	光星学院	28	学部の学科増設	八戸学院大学	健康医療学部看護学科	代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
		31	短大の学科増設	八戸学院大学短期大学部	介護福祉学科			今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科)
44	高知学園	31	専門職大学新設	高知リハビリテーション専門職大学	リハビリテーション学部	特になし。	特になし。	事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (高知学園短期大学生活科学学科)
45	弘徳学園	29	大学院新設	姫路大学大学院	看護学研究科(M)	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (姫路大学 教育学部 こども未来学科)
46	甲南女子学園	30	学部増設	甲南女子大学	医療栄養学部	特になし。	特になし。	特になし。
47	国際医療福祉大学	29	学部増設	国際医療福祉大学	医学部	特になし。	特になし。	学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。
		30	学部増設	国際医療福祉大学	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部			
		30	研究科増設	国際医療福祉大学大学院	医学研究科			
48	国際学園	29	研究科増設	星槎大学大学院	教育実践研究科(P)(通信教育課程)	特になし。	特になし。	特になし。
49	越原学園	31	学部増設	名古屋女子大学	健康科学部	特になし。	特になし。	特になし。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
50	駒澤学園	30	学部増設	駒沢女子大学	看護学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
51	札幌大学	31	短大の学科増設	札幌大学女子短期大学部	子ども学科	特になし。	特になし。	<p>理事会・評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会・評議員会をそれぞれ独立して開催すること。 <p>近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (札幌大学女子短期大学部 キャリアデザイン学科、こども学科)</p>
52	佐藤栄学園	29	学部増設	平成国際大学	スポーツ健康学部	特になし。	特になし。	特になし。
53	山陽学園	30	学部増設	山陽学園大学	地域マネジメント学部	特になし。	特になし。	<p>学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (山陽学園大学 地域マネジメント学部 地域マネジメント学科、山陽学園短期大学 食物栄養学科、幼児教育学科)</p>

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
54	四條畷学園	27	学部増設	四條畷学園大学	看護学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
55	静岡精華学園	27	学部増設	静岡福祉大学	子ども学部	特になし。	監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (静岡福祉大学社会福祉学部 健康福祉学科)
56	至善館	30	法人新設	大学院大学至善館	イノベーション経営学院(P)	特になし。	監事の出席していない理事会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	事務局長が配置されていないことから、速やかに選任すること。 理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・理事会及び評議員会が持ち回りで行われたことから、集会の形式により行うこと。
57	四天王寺学園	31	学部増設	四天王寺大学	看護学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
58	四徳学園	27 31	大学新設 学部増設	長野保健医療大学 長野保健医療大学	保健科学部 看護学部	特になし。	特になし。	独立監査人による監査報告が決算前の計算書類に基づき実施されているため、適切に行うこと。
59	修道学園	29	学部増設	広島修道大学	健康科学部	特になし。	特になし。	監事監査については、財務監査のみならず教学面の監査も必要であることを認識し、今後は教学面の監査も行うこと。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
60	修文学院	28	学部増設	修文大学	看護学部	特になし。	特になし。	<p>近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (修文大学 健康栄養学部管理栄養学科、修文大学短期大学部 幼児教育学科第一部)</p>
61	秀明学園	29	学部増設	秀明大学	看護学部	特になし。	特になし。	<p>事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (秀明大学 看護学部看護学科)</p>
62	淳心学園	29	大学新設	北海道千歳リハビリテーション大学	健康科学部	寄附行為が申請なく変更されていたことから、法令の規定に基づき、変更認可申請を行うこと。	特になし。	<p>近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
63	純真学園	30	大学院新設	純真学園大学大学院	保健医療学研究科	特になし。	特になし。	<p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (純真短期大学 食物栄養学科)</p>

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
64	順正学園	29	研究科増設	吉備国際大学大学院	地域創成農学研究科(M)	特になし。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (吉備国際大学 保健医療福祉学部作業療法学科、心理学部子ども発達教育学科、農学部地域創成農学科醸造学科、外国語学部外国語学科、アニメーション文化学部アニメーション文化学科、九州保健福祉大学 社会福祉学部臨床福祉学科、保健科学部作業療法学科、言語聴覚療法学科、臨床工学科、薬学部動物生命薬科学科)
65	順天堂	27	学部増設	順天堂大学	国際教養学部	特になし。	特になし。	特になし。
		31	学部増設	順天堂大学	保健医療学部	特になし。	特になし。	特になし。
66	松蔭学園	27	学部増設	松陰大学	看護学部	特になし。	特になし。	評議員が欠員となっていることから、予定どおり補充すること。 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
			29	学部の学科増設	松陰大学	コミュニケーション文化学部子ども学科	特になし。	特になし。
67	城西大学	28	学部の学科増設	城西国際大学	福祉総合学部理学療法学科	特になし。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (城西国際大学 福祉総合学部福祉総合学科)
68	聖徳学園	27	学部増設	岐阜聖徳学園大学	看護学部	代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	特になし。
69	湘南ふれあい学園	27	大学新設	湘南医療大学	保健医療学部	特になし。	特になし。	理事に教学関係者が少ないことから、教学側の意見が適切に反映し得る理事構成に見直すこと。
		31	大学院新設	湘南医療大学大学院	保健医療学研究科(M)	特になし。	特になし。	特になし。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
70	常陽学園	28	学部の学科増設	東京医療学院大学	保険医療学部看護学科	特になし。	特になし。	<p>近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>流動比率や繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。</p> <p>負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。</p>
71	須賀学園	31	短大の学科増設	宇都宮短期大学	食物栄養学科	特になし。	特になし。	<p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (宇都宮共和大学 子ども生活学部子ども生活学科、宇都宮短期大学 音楽科、人間福祉学科、食物栄養学科)</p>
72	青洲学園	30 31	学部増設 学部の学科増設	東都大学 東都大学	管理栄養学部 幕張ヒューマンケア学部理学療法学科	特になし。	特になし。	<p>会計書類については、文部科学大臣所轄法人として学校法人会計基準に沿った取扱が行えるよう適切に対応すること。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (東都大学 管理栄養学部、幕張ヒューマンケア学部理学療法学科)</p>
73	聖カタリナ学園	29	学部の学科増設	聖カタリナ大学	人間健康福祉学部看護学科	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。	特になし。	<p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (聖カタリナ大学 人間健康福祉学部社会福祉学科)</p>

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
74	清泉女学院	31	学部増設	清泉女学院大学	看護学部	特になし。	特になし。	<p>学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (清泉女学院大学 看護学部看護学科)</p>
75	聖路加国際大学	29	研究科増設	聖路加国際大学大学院	公衆衛生学研究科(P)	特になし。	特になし。	特になし。
76	瀬木学園	30	短大の学科増設	愛知みずほ短期大学	現代幼児教育学科	特になし。	特になし。	特になし。
77	先端教育機構	29	大学院大学新設	社会情報大学院大学	広報・情報研究科(P)	特になし。	特になし。	特になし。
78	相愛学園	30	大学院新設	相愛大学大学院	音楽研究科	特になし。	特になし。	<p>評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。</p> <p>近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (相愛大学 音楽学部音楽学科)</p>
79	創価大学	27	学部の学科増設	創価大学	理工学部共生創造理工学科	特になし。	特になし。	特になし。
80	創志学園	28 29	学部増設 短大の学科増設	環太平洋大学 東京経営短期大学	経営学部 こども教育学科	特になし。	特になし。	未整備の規程を整備すること。 (特定個人情報等の取扱いに関する規程)
81	タイケン学園	30	学部増設	日本ウェルネススポーツ大学	スポーツプロモーション学部(通学制課程)	特になし。	特になし。	学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。
82	大正大学	28	学部増設	大正大学	地域創生学部	特になし。	特になし。	特になし。
83	大東文化学園	30	学部の学科増設	大東文化大学	スポーツ・健康科学部看護学科	特になし。	監事の出席していない評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	未整備の規程を整備すること。 (学部(学科)長候補者選考規程)
84	高木学園	31	組織変更	福岡国際医療福祉大学	医療学部	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。	特になし。	理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・決算を理事会にて議決し、評議員会において報告すること。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
85	高崎健康福祉大学	31	学部増設	高崎健康福祉大学	農学部	特になし。	特になし。	特になし。
86	玉手山学園	28	学部増設	関西福祉科学大学	教育学部	特になし。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (関西女子短期大学 医療秘書学科)
87	中央学院	29	学部増設	中央学院大学	現代教養学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
88	中国学園	27	学部増設	中国学園大学	国際教養学部	特になし。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (中国学園大学 子ども学部子ども学科、国際教養学部国際教養学科、中国短期大学 総合生活学科)
89	調布学園	31	学部増設	田園調布学園大学	人間科学部	特になし。	特になし。	事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
90	筑波学院大学	31	法人新設 (大学の設置者変更)	筑波学院大学	経営情報学部	資産総額の変更登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	特になし。
91	津田塾大学	29	学部増設	津田塾大学	総合政策学部	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	特になし。
92	都築第一学園	31	大学院新設	横浜薬科大学大学院	薬学研究科(M)、 薬学研究科(D)	特になし。	特になし。	事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。
93	鶴岡学園	29 29	研究科増設 研究科増設	北海道文教大学大学院 北海道文教大学大学院	リハビリテーション科学研究科(M) こども発達学研究科(M)	特になし。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (北海道文教大学 外国語学部国際言語学科)

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
94	帝京科学大学	28 30	学部の学科増設 研究科増設	帝京科学大学 帝京科学大学大学院	医療科学部医療福祉学科 医療科学研究科	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (帝京科学大学 医療科学部医療福祉学科)
95	帝京平成大学	29	研究科増設	帝京平成大学大学院	看護学研究科(M)	特になし。	特になし。	学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。
96	鉄蕉館	31	大学院新設	亀田医療大学大学院	看護学研究科(M)	特になし。	特になし。	学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。
97	天理大学	29	研究科増設	天理大学大学院	宗教文化研究科(M)	特になし。	特になし。	特になし。
98	東京歯科大学	29	短大新設	東京歯科大学短期大学	歯科衛生学科	特になし。	特になし。	特になし。
99	東京純心女子学園	27	学部増設	東京純心女子大学	看護学部	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (東京純心大学 現代文化学部こども文化学科)

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
100	東京聖徳学園	30	研究科増設	聖徳大学大学院	看護学研究科(M)	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (聖徳大学 児童学部 児童学科、心理・福祉学部 心理学科、文学部 文学科、音楽学部 演奏学科、音楽総合学科 聖徳大学短期大学部 保育科第一部、保育科第二部)
101	東京農業大学	29	学部増設	東京情報大学	看護学部	代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	特になし。
102	同志社	27 30	学部増設 研究科増設	同志社女子大学 同志社女子大学大学院	看護学部 看護学研究科(M)	特になし。	特になし。	特になし。
103	桐朋学園	29	大学院新設	桐朋学園大学大学院	音楽研究科(M)(D)	特になし。	特になし。	特になし。
104	東北医科薬科大学	28	学部増設	東北医科薬科大学	医学部	特になし。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (東北医科薬科大学 薬学部 生命薬科学科)
105	東北学院	30	学部の学科増設	東北学院大学	文学部教育学科	特になし。	特になし。	特になし。
106	常磐大学	30	学部増設	常磐大学	看護学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (常磐大学 人間科学部 コミュニケーション学科)

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
107	獨協学園	28	学部増設	姫路獨協大学	看護学部	特になし。	特になし。	負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (姫路獨協大学 人間社会学群国際言語文化学類、現代法律学類、産業経営学類、医療保健学部 作業療法学科、臨床工学科)
108	豊田学園	31	大学新設	岐阜保健大学	看護学部	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (岐阜保健大学短大 学部 リハビリテーション学科)
109	中西学園	30	学部増設	名古屋学芸大学	看護学部	特になし。	監事の出席していない理事会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	特になし。
110	永原学園	30	学部増設	西九州大学	看護学部	特になし。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (西九州大学 健康福祉学部社会福祉学科、西九州大学短期大学部 地域生活支援学科)
111	中村産業学園	30	学部増設	九州産業大学	人間科学部	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (九州産業大学 芸術学部ソーシャルデザイン学)
112	永守学園	27	学部増設	京都先端科学大学	健康医療学部	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	特になし。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
113	名古屋学院大学	27	学部の学科増設	名古屋学院大学	スポーツ健康学部 こどもスポーツ教育学科	特になし。	特になし。	理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・理事長は予算の議決において、あらかじめ評議員会の意見を求めること。
114	浪商学園	27	学部増設	大阪体育大学	教育学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
115	奈良学園	30 31	大学院新設 学部の学科増設	奈良学園大学大学院 奈良学園大学	看護学研究科(M) 保健医療学部 リハビリテーション学科	特になし。	特になし。	理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・理事長は予算の議決において、あらかじめ評議員会の意見を求めること。 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (奈良学園大学 保健医療学部リハビリテーション学科)
116	南山学園	31	研究科増設	南山大学大学院	法学研究科(M) 法学研究科(D)	特になし。	特になし。	特になし。
117	新潟総合学園	30	大学新設	新潟食料農業大学	食料産業学部	特になし。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (新潟食料農業大学 食料産業学部食料産業学科)
118	西大和学園	28	学部増設	大和大学	政治経済学部	特になし。	特になし。	学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
119	新田塚学園	29	大学新設	福井医療大学	保健医療学部	寄附行為が申請なく変更されていたことから、法令の規定に基づき、変更認可申請を行うこと。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
120	日通学園	29	学部の学科増設	流通経済大学	スポーツ健康科学部スポーツコミュニケーション学科	特になし。	特になし。	特になし。
121	二戸学園	29	大学新設	岩手保健医療大学	看護学部	特になし。	重要な設置計画の変更について文部科学省への協議が行われていなかったことから、計画変更の内容について文部科学省へ報告するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ必ず文部科学省と協議すること。	法人事務局の業務の実態に即して事務局組織に関する規程の見直しを図ること。 「学校法人二戸学園の職務における業務活動（研究活動を除く）に関する利益相反マネジメント規程」に係る運用細則を早急に完成し周知徹底すること。 岩手保健医療大学において、確実に学生を確保できるよう、中長期的な視点から戦略的に取り組むこと。 基本金組入前当年度収支差額が当初認可時計画と比べて大きくマイナスであり、本年度においてもマイナスが続くことが想定されることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等に比べ低い状況が続いていることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
122	日本医療大学	27 28	学部の学科増設 学部の学科増設	日本医療大学 日本医療大学	保健医療学部リハビリテーション学科 保険医療学部診療放射線学科	特になし。	特になし。	特になし。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
123	日本教育財団	30 31	組織変更 専門職大学 新設	東京通信大学 国際ファッション 専門職大学	情報マネジメント学部、人間福祉学部 国際ファッション学部	資産総額の変更登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに 行うこと。	特になし。	理事に教学関係者が少ないことから、教側の意見が適切に反映し得る理事構成に見直すこと。 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。
124	日本体育大学	29 30	研究科増設 研究科増設	日本体育大学大学院 日本体育大学大学院	教育学研究科 (M) (D) 保健医療学研究科 (M)	特になし。	特になし。	特になし。
125	日本福祉大学	27 29	学部増設 学部増設	日本福祉大学 日本福祉大学	看護学部 スポーツ科学部	特になし。	特になし。	特になし。
126	ノートルダム女学院	29	学部増設	京都ノートルダム女子大学	現代人間学部	特になし。	特になし。	理事会及び評議員会の委任状について、白紙委任ともとれる記載があることから、その在り方について見直すこと。 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (京都ノートルダム女子大学 現代人間学部福祉生活デザイン学科、心理学科)
127	梅花学園	27 29	学部の学科増設 研究科増設	梅花女子大学 梅花女子大学大学院	看護学部口腔保健学科 看護保健学研究科 (M)	特になし。	特になし。	特になし。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
128	東日本学園	31	学部増設	北海道医療大学	医療技術学部	特になし。	特になし。	<p>近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>申請年度から完成年度の負債償還率の平均が高いことから、負債について計画どおり償還すること。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (北海道医療大学 看護福祉学部臨床福祉学科)</p>
129	廣池学園	30	研究科増設	麗澤大学大学院	学校教育研究科	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	特になし。
130	広島文化学園	30	学部増設	広島文化学園大学	人間健康学部	特になし。	特になし。	特になし。
131	福岡学園	29	大学新設	福岡看護大学	看護学部	特になし。	監事の出席していない理事会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	特になし。
132	福島学院	27	学部の学科増設	福島学院大学	福祉学部こども学科	特になし。	監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	<p>理事が欠員となっていることから、速やかに補充すること。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (福島学院大学短期大学部 食物栄養科)</p>
133	福原学園	30	大学院新設	九州共立大学大学院	スポーツ学研究科	特になし。	監事の出席していない評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	<p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (九州共立大学 経済学部地域創造学科)</p>

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
134	藤田学院	27 31	大学新設 研究科増設	鳥取看護大学 鳥取科学大学大学院	看護学部 看護学研究科(M)	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
135	古沢学園	30	大学院新設	広島都市学園大学大学院	保健学研究科	特になし。	特になし。	事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (広島都市学園大学子ども教育学部子ども教育学科)
136	朴沢学園	29	学部の学科増設	仙台大学	体育学部子ども運動教育学科	特になし。	特になし。	事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
137	北杜学園	31	短大の学科増設	仙台青葉学院短期大学	現代英語学科	特になし。	特になし。	学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。
138	北陸大学	29	学部増設	北陸大学	医療保健学部	特になし。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (北陸大学 薬学部薬学科、未来創造学部国際教養学科)
139	北海道科学大学	30 30 30	学部増設 研究科増設 研究科増設	北海道科学大学 北海道科学大学大学院 北海道科学大学大学院	薬学部 薬学研究科 保健医療学研究科(M)	特になし。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (北海道科学大学 保健医療学部技師装具学科、北海道科学大学短期大学部 自動車工学科)

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
140	松商学園	29	学部増設	松本大学	教育学部	特になし。	特になし。	特になし。
141	宮城学院	28	学部増設	宮城学院女子大学	現代ビジネス学部	特になし。	特になし。	理事及び評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。
142	武庫川学院	27	学部増設	武庫川女子大学	看護学部	特になし。	特になし。	事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
143	村上学園	30	短大の学科増設	東大阪大学短期大学	介護福祉学科	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (東大阪大学短期大学部実践食物学科、実践保育学科)
144	目白学園	30 31	学部増設 短大の学科増設	目白大学 目白大学短期大学部	メディア学部 歯科衛生学科	特になし。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (目白大学短期大学部 歯科衛生学科)
145	桃山学院	30	大学の設置者変更	桃山学院教育大学	教育学部	特になし。	特になし。	特になし。
146	安田学園	30	研究科増設	安田女子大学大学院	看護学研究科	特になし。	特になし。	特になし。
147	ヤマザキ学園	31	専門職短期大学新設	ヤマザキ動物看護専門職短期大学	動物トータルケア学科	特になし。	監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・理事会及び評議員会が持ち回りで行われたことから、集会の形式により行うこと。
148	山梨学院	27 28	学部増設 学部増設	山梨学院大学 山梨学院大学	国際リベラルアーツ学部 スポーツ科学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (山梨学院大学 国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科)

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
149	悠久崇徳学園	31	組織変更	長岡崇徳大学	看護学部	財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・決算を理事会にて議決し、評議員会において報告すること。 法人運営の適切性を担保するため、法人内の監査体制を明確にすること。 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低いことから、教育研究条件の充実向上を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (長岡崇徳大学 看護学部看護学科)
150	行吉学園	27 31	学部増設 研究科増設	神戸女子大学 神戸女子大学大学院	看護学部 看護学研究科(M) 看護学研究科(D)	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
151	吉田学園	29	学部の学科増設	札幌保健医療大学	保健医療学部栄養学科	特になし。	特になし。	独立監査人による監査報告が決算前の計算書類に基づき実施されているため、適切に行うこと。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (札幌保健医療大学 保健医療学部栄養学科)
152	立命館	29 30	研究科増設 学部の学科の増設	立命館大学大学院 立命館大学	教職研究科(P) 国際関係学部アメリカン大学・立命館大学国際連携学科	特になし。	特になし。	今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (立命館大学 国際関係学部アメリカン大学・立命館大学国際連携学科、グローバル教養学部グローバル教養学科)
153	龍谷大学	27 30	学部増設 研究科増設	龍谷大学 龍谷大学大学院	農学部 農学研究科	特になし。	特になし。	特になし。
154	和歌山信愛女学院	31	大学新設	和歌山信愛大学	教育学部	特になし。	特になし。	特になし。
155	渡辺学園	30	学部の学科増設	東京家政大学	健康科学部リハビリテーション学科	特になし。	特になし。	未整備の規程を整備すること。 特定個人情報等の取扱いに関する規程)

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
156	和洋学園	30	学部増設	和洋女子大学	看護学部	特になし。	特になし。	<p>近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>監事監査については、財務監査のみならず教学面の監査も必要であることを認識し、今後は教学面の監査も行うこと。</p>
157	明海大学	31	学部増設	明海大学	保健医療学部	特になし。	特になし。	<p>学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (明海大学 外国語学部中国語学科、保健医療学部口腔保健学科)</p>
158	武蔵野大学	31	研究科増設	武蔵野大学大学院	工学研究科(M)	特になし。	特になし。	特になし。